

# 遠野

## 議会だより

発行：遠野市議会

平成21(2009)年7月

# No.16



## すこやか・さんぽ

### 遠野保育園

子供は遊びの名人。自分で遊びを見つけ、遊びをつくり、遊び込む。

遊びの中から子どもたちは、こころ豊かに、たくましく生きる力を育んでいきます。

「ちっちゃくたって大きな夢、ちっちゃくたって大きな愛」を理念として、生きる力の基礎を培うことを目標としています。

(菊池 節子 園長)

## 主な内容 5月臨時会・6月定例会

- ◆定例会の概要など …… 2P
- ◆中学校再編成調査特別委員会最終報告 …… 3P
- ◆一般質問 ～5人が登壇～ …… 4～6P
- ◆議案審議結果 …… 6P
- ◆委員会質疑 …… 7～8P
- ◆委員会行政視察レポート …… 9P
- ◆私のひとこと・編集後記など …… 10P

# 6月定例会

平成21年6月定例会  
が6月5日に招集さ

れ、11日までの7日間の会  
期で開かれました。

この定例会では、平成  
21年度一般会計補正予算な  
ど、市長提出案件のほか議  
員発議による意見書案2件  
の審議を行いました。

その結果、すべての議案  
を原案のとおり可決しま  
した。

また、一般質問では5人  
の議員が登壇し、市政をた  
だしました。

最終日では、本会議にお  
いて、中学校再編成調査特  
別委員会から最終報告がな  
されました。

## 〔請願〕

### ◆請願第1号

学級編成基準・教職員  
定数の改善、専任司書教  
諭の配置を求める請願書  
(採択)

### ◎請願者 高橋俊明

### ◆請願第2号

義務教育費国庫負担制度  
の堅持及び国負担率の2  
分の1への復元、教育予  
算の拡充を求める請願書  
(採択)

### ◆請願案第3号

政府が自ら決めた備蓄  
ルールに基づいて政府米  
買入れを求める請願書  
(継続審査)

### ◎請願者 阿部喜一

## 〔意見書〕

### ◆意見書案第6号

学級編成基準・教職員定  
数の改善、専任司書教諭の  
配置を求める意見書(原案  
可決)

### ◆意見書案第7号

義務教育費国庫負担制度  
の堅持及び国負担率の2分  
の1への復元、教育予算の  
拡充を求める意見書(原案  
可決)

## 〔討論〕

### ◆反対します

#### 小松大成議員

A S Tチャレンジ100事業  
費として助成金800万円が計  
上されたが、当局はこの補  
正予算金額の執行対象者を  
明らかにするよう求める議論  
があるにも関わらず明らか  
にしていることから反対  
する。

### ◆賛成します

#### 荒川栄悦議員

新たに設備投資をして、  
その負担による不安とリス  
クを抱えて、シイタケ生産  
に挑戦しようとする新規就  
農者がいる時、この人たち  
を援助することは当然であ  
り、この予算に賛成するも  
のである。



平成21年度遠野市消防演習のもよう

## 5月臨時会

平成21年5月臨時会が  
5月29日に開催されまし  
た。そのなかでも、遠野市  
一般職の職員の給与に関す  
る条例の一部を改正する  
条例の制定について活発な  
質疑が交わされました。

# ～平成23年4月1日同時スタート～ 時期尚早

## 中学校再編成調査特別委員会 最終報告

### 平

成21年1月9日に遠野市立中学校再編成調査特別委員会を設置し、委員長に新田勝見君、副委員長に佐々木讓君が選出された。

調査特別委員会は、議長を除く21人の全議員で構成され、調査特別委員会の円滑なる運営を図るため、幹事会を設置し、幹事に正副委員長のほか、各会派から代表1人の8人が選出された。

これまで、幹事会を5回、調査特別委員会を6回開催し、住民から意見を聞く会の開催、今後の進め方、住民からの意見集約、中間報告及び教育委員から意見を聞く会、更には、小友地区の「中学校再編成計画を考える会」及び附馬牛地区の「ふるさと遠野の子供を育む会」、遠野市PTA連合会（各校PTA会長等）、遠野市保育園父母の会連合会及び宮守町内保育所・

幼稚園父母の会会長・副会長から意見を聞く会の開催、団体からの意見集約及び最終報告等について協議を重ねてきた。

調査特別委員会としての中学校再編成計画案に対する意見は、これまでの住民や団体等からの再編成計画案に対する意見や経過を踏まえ、再編成の必要性や生徒数の動向を考えると市政の重要課題である。

住民や団体等から意見を聞く会では、出席者多数の意見は、再編成計画案に対して、統合はやむを得ないが、再編成計画案の見直しや白紙撤回、もっと時間をかけるべき等の意見が多数であり、出席者数の状況から分かるように、学校がなくなる地区となくなるらない地区での温度差が出ている。

しかし、教育委員会が中学校再編成の9項目の視点に示しているように市内8校の中学校を

3校に再編成する中学校再編成計画案は、既存校舎及び用地の有効活用を図る上でやむを得ないように思われる。

したがって、中間報告で述べたように地域間の温度差の解消も含め、なお、住民合意を得るための努力が必要と思われる。

特に小友地区の「中学校再編成計画を考える会」の遠野市中学校再編成計画案の白紙撤回を求める1,248人（中学生以上1,365人の約91%）の署名や、附馬牛地区の「ふるさと遠野の子供を育む会」の遠野市中学校再編成計画案の白紙撤回を求める5,069人（内訳は市民3,497人と市外在住者1,572人）の署名は、市民の意思と捉え、重く受け止めている。

また、通学距離や学区の設定など課題も多く、再編

成時期の3校とも平成23年4月1日の同時スタートについては時期尚早と考えられる。

このようなことから、計画案については、住民の合意形成のための時間も不可欠であり、もっと時間をかけて慎重に検討すべきと考えられる。

以上最終報告とするが、この調査特別委員会の調査のためにご協力をいただいた地区住民、団体等の方々にお礼を申し上げます、報告とする。



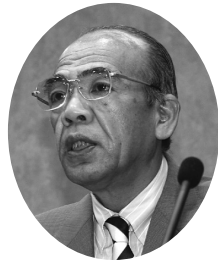
5月22日開催の市P連から意見を聞く会のようす

一般質問

市政を問う



より積極的な雇用の創出を



石橋 達八 議員 (無会派)

離職者対策、雇用創出は

**問** 経済不況で市の地域経済も大きな打撃を受けていると思う。市内経済の現状及び離職者、雇用対策、政府が講じる経済危機対策に連動した取り組みはどう

なっているのか。  
**答** 市内製造業者の今年2月、3月期の生産ラインの稼動状況は、ピーク時の40%から50%程度と低調に推移している。市街地の中心核店舗でも売り上げが同期、前年比11%、74%減少と厳しい状況にある。また、新規求人がない状態にあり、特に製造業の求人

は皆無に等しく雇用情勢はまだまだ厳しい状況が続くと思われる。市の雇用対策では、昨年12月から地域連携雇用創出推進本部を設置し、雇用に関する情報共有、雇用相談、企業への雇用創出は、43名になっている。また、平成21年度当初予算では44名を計画している。6月定例会では、介護、福祉、子育て、産業、情報通信分野で13名の雇用

を目標に雇用促進を図りたい。ただこの目標で満足というものでなく、「市独自の就労先の創出」についても検討をしたい。政府の地域活性化・経済危機対策臨時交付金が5億円交付される見込みである。現在事業化に向け検討中であるが、市民が喜ぶ、地域経済が潤う事業に積極的に取り組んでいく。



浅沼 幸雄 議員 (正心会)

四年間の評価と立候補にあたっての政治姿勢は

**問** 新遠野市初代市長としての4年間をどのように評価されるのか。  
**答** 合併協定項目については、全119事業中、115事業の調整が完了し、残り4事業

についても21年度にはすべて完了する予定である。また、前期基本計画に位置づけた140事業のうち、平成21年度までの着手は130事業となり、着実な事業の進展が図られている。このように遠野市に山積していた課題を、身の丈の中から知恵と工夫をもって職員と共に一丸となっ

て解決に取り組んできたと認識している。  
**問** 今秋の市長選挙立候補表明に当たっての政治姿勢は。  
**答** これまでの成果とさまざまな教訓を踏まえ、

- ① 農林水畜産業を中心とした一次産業の振興と商工業の活性化
- ② 福祉・医療・保健一体となった介護の充実と健康づくりの推進
- ③ 地理的条件を最大限に活かした「連携と交流」の推進を図り「遠野広域経済圏」構想の具現化
- ④ 中心市街地の賑わいと空間の整備促進
- ⑤ 生活に身近な道路、水路、汚水処理等生活環境の整備
- ⑥ 第三セクターを含め、行財政の健全化と改革の見直し、改革の推進
- ⑦ 身の丈にあった行財政運営と、進化する「遠野スタ

イル」による地域づくりの展開に取り組んでいく。  
**■その他の質問**  
第三セクターの現状と今後について

一般質問

市政を問う



たらの芽の出荷作業のようす

環境保全型農業への取組みについて



荒川 栄悦 議員 (清風会)

**問** 環境保全型農業への取組みは。

**答** 環境保全型農業への取組みの第一歩として現在、農家、営農組合と連携し、

堆肥による肥料代替技術実証の試験圃場を設定し、栽培試験を始めている。その結果を踏まえながら、適切な施肥設計等の検証を行い、コメ、大豆、麦その他の品目についても市堆肥センターを活用する取組みを進め、更なる耕蓄連携・循環型農業を推進し、付加価

値の高い農産品の生産へと結びつけ、農家収入の増を目指す。また、(仮称)「環境保全型農業研究会」と言うような組織を立ち上げ、アストを拠点として、研究・情報交換が出来る体制を作ると共に、各種制度の研究・検討を行う。さらに、情報発信の仕組み作りを積極的に進め、新たな遠野スタイルの環境保全型農業の展

開に挑戦して行く。  
**問** 遠野市観光協会の法人化による観光推進は。  
**答** 法人化の方向はこれらの検討課題である。市としては当面、観光協会との連携のもと、マンパワーの結集により観光振興を図るとともに、観光協会のさらなる組織強化に向けた取組みに対して支援をして行く。また、中心市街地活性

化基本計画の中で駅前地区を、情報発信エリア・観光エリアとして開発する。

農業分野に将来を担う若者を呼び込む対策は



菊池 巳喜男 議員 (清風会)

ではないか。

**問** 農業者の平均年齢は65歳で若い年代での就農率は年々減少の一途をたどっている。若者が農業を営む環境を整えて、若者定住対策を講ずることにより「百億円プラン」も盛り上がるの

**答** A S T支援事業により、生産拡大、販売額増、コスト低減、新規参入等で成果を上げているが、今年度の就農支援として、A S T起農塾を年3回程度開催し、新規就農者の掘り起こしを行う。また、集落営農組織も重要と考えており、支援や指導を強化継続する。

**問** 市有林は概ね2千haと聞いているが、その中には元学校林が地域に点在しており、その後、学校再編成等で多くが市に寄付され、今、半世紀経過し伐採時期を向かえているが、当時の関わりのある地区に何らかの還元は考えていないのか。  
**答** ここ数年、立木売却収入は落ち込んでいるが、基金として積み立て除間伐等の経費に充てている。今後

は、市全体の産業振興等に活用する事としたい。  
**問** 原付バイクや小型特殊自動車のナンバープレートを民話の里にふさわしい河童の「かりんちゃん」の顔の形や、南部曲り家の形など、ユニークで遠野をアピールし親しみを持てる独自の形に考えてはどうか。  
**答** ナンバープレートに付加価値を付けて情報発信する事は有効な手段であり検討していきたい。

一般質問

市政を問う

旧JA遠野から譲渡された施設の活用について



照井 文雄 議員  
(清風会)

**問** 各町の各種農業団体はそれぞれ独自に運営されているが、旧支所を中核とする有効利用策はないか。

**答** 昨年「JA寄付採納財産利活用検討委員会」を設置した。文化財の保存施設や福祉作業所、日用品の販売施設、老人クラブ等への貸付など、地域の特性に合った活用が最良であり、利用者団体間の協力を得て利活用案を採用していきたい。今後「公有財産活用検討委員会」を設置し合意を得たものから順次活用していききたい。

機会を増やし、市民協働の精神で老人の世話をする社会づくりが必要と考えるが当局の見解は。

**答** ハートフルプラン2009（H21～H23高齢者福祉計画、介護保険事業計画）の策定にあたり、中高齢者の意識調査を実施した結果、「将来は自宅で家族やホームヘルパーなどの介護を望む」という人が60%もいることから、地域で活動している団体等と関係機関が連携したネットワークを構築し、市民協働による地域福祉の推進を図る事としている。健康づくり総合大学等と連携し健康づくりや、生きがいづくり活動を推進し介護を学ぶ場の充実に努める。

■その他の質問

「超高齢化社会」に対応した取り組みとして、一般市民が介護の勉強をする第3セクターの統合、縮小について

5月臨時会での議案審議結果

議 案 名	賛成	反対
遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	全会一致	
平成20年度遠野市一般会計補正予算(第11号)の専決処分に関し承認を求めることについて	全会一致	
遠野市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市遠野健康福祉の里条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	17	4
遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	19	2
遠野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	19	2

6月定例会での議案審議結果

議 案 名	賛成	反対
遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
釜石地区広域市町村圏協議会廃止の協議に関し議決を求めることについて	全会一致	
遠野市博物館展示改装工事の請負契約の締結について	全会一致	
平成21年度遠野市一般会計補正予算(第1号)	16	5
平成21年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
ケーブルテレビ施設整備工事の請負契約の締結について	全会一致	
平成21年度遠野市一般会計補正予算(第2号)	全会一致	

予算等審査特別委員会

遠野市立博物館展示  
改装工事の目的は

**問** 遠野市立博物館展示改装工事の目的は。

**答** 博物館は、築30年を経たことによる施設の老朽化の改善、合併による新たな情報紹介（展示替等）の必要性により、平成22年の「遠野物語」発刊百周年を迎えるに当たり、大幅な改修をすることとし

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例2件、予算3件、その他3件について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では、遠野市職員給与の引き下げ、雇用対策、アストチャレンジ100事業等について活発な質疑が交わされました。

た。この展示改装工事は、専門性が高いので、国内で1、2番に実績があり、技術面でも優れている2社を指名し、(株)乃村工藝社と3億7千9百5万円で随意契約をした。内容については、「遠野物語」を機軸とした展示構成である。

**問** これからの文化行政の方向は。

**答** 百周年記念事業を一過性に終わらせることなく、多くの市民の参加を頂き「遠野物語」を中心に、前進を実感でき、感動を与える街づくりを目指す。

アカマツの  
管理について

**問** 市民センター体育館脇のアカマツの管理はどうなっているか。

**答** 昨年の4月頃から枯れ始めてきて樹木医に診てもらっているが、今年の5月

には仮死状態であるとの診断結果が出た。

**問** 今後の取り組みは。

**答** 虫によって仮死状態にあるが、多額の費用をかけて移転した松であり、今後手入れだけは続けていく。

**問** 旧遠野小時代から歴史ある財産ではあるが、そのままでもいいのか。環境保全の観点からもダメになるのを待つというよりも、思い切って整理をして新しい樹木に植え替えるとかの工夫が必要と思うが。

**答** 確かに診断結果が仮死寸前ということだが、樹木医とも相談しながら樹生回復を待つ。

畜産振興総合センター  
整備事業について

**問** 整備費2百78万6千円の内訳は。

**答** 旧遠野農協の種雄牛センターの改修工事である。

**問** 畜産版アストを立ち上げると聞いているが、開始時期や供用範囲は。

**答** 工事は9月9日工期で、9月上旬から供用開始としたい。供用範囲は、関係4団体の遠野市・東南部NOUSAI・JA花巻・畜産公社で詰めている。

**問** 現在、同場所に東南部農済の建物を建設中であるが、別棟で仕事をするのか。

**答** 診療センターとし、獣医・受精師等で行い、今後工事をする旧遠野農協種雄牛センターに遠野市・JA花巻・畜産公社が入る予定で、隣接の中で協議を進める。

**問** 畜産公社は放牧部門が同施設に入る予定であるが、馬事部門との関連は。

**答** 色々な案を検討している、当面は協議体方式で運営し、今後の運営を検討していく。

菌床しいたけ事業  
補助金の内容は

**問** アストチャレンジ100事業の中の8百万円の補助金の具体的内容は。

**答** 菌床しいたけの株購入の補助金である。栽培技術の進展により通年作付けが可能となり、雇用も確保できるといことから、株購入費の2分の1を補助する



リニューアルオープンが待たれる博物館

予算等審査特別委員会

というものである。株1万円以上を対象とし、百万円を上限とするものである。現在のところ8件程度の申し込みを想定している。ア

スト事業には、チャレンジ100事業と元氣アップ事業の2種類がある。前者は、

アストが誘導する事業であり、後者は農家が自発的に

行う事業に支援する事業である。1ハウスに7百万円

もかかる事業であり、補助金百万円は高いものではないと判断している。景気浮

揚対策としては雇用の確保が重要であり、アスト

としても新たな挑戦をしていくことが大切だと考えている。

緊急雇用創出について

**問** 最近の失業者数と、緊急雇用創出事業による雇

**答** 約300名近い方が失業

され、緊急雇用創出事業による雇

用者数は、平成21年度補正を合わせて約130名

となっている。  
**問** 失業者全体の雇用が確保されて

いないがその対策は。  
**答** 国では、今回の補正

予算で3つの柱による景気対策を練っている。

一つ目は、地域活性化経済危機対策臨時交付金。

二つ目は、地域活性化公共投資臨時交付金。

三つ目は、公金による基金造成をして雇用を確保するとい

ケーブルテレビへの加入状況について

**問** 平成23年から地上デジタル放送に完全移行する

タ

ル放送に完全移行する組み立てになっ

ているが、市民の関心の高まりとケ

ブルテレビの加入状況はどうか。  
**答** 平成23年7月

から地上デジタル化へ移行する。物

見山からのデジタル放送もあるが受信の限

りがある事から、市としては先進的にケーブルテレビを導入している

新型インフルエンザ対策について

**問** 豚から発生したインフル

エンザが全世界で猛威を奮っている。遠野市での発生は幸い今のところない

が、事前の対策や発生後の対応策はどうなっているのか。  
**答** 今年の4月にメキシコ

で新型インフルエンザが発生した。国内でも感染者が

少しづつ増加している。6月時点で国内発生は457人

で、東北、遠野市ではまだ発生していない。市では事

前対策として行動計画を各課で作成し、対応していく。

保健所でも発熱相談所を設け、相談センターでは電話



県立病院横に併設されている発熱外来

相談も受け付けている。予防対策で一番効果があるのは手洗いで、次にうがい、マスクの着用である。今後秋に向けて新型インフルエンザが再流行するかも知れないということで、今後遠野テレビ等を通じて予防の啓発運動を展開していく予定だ。



委員会レポート

行政視察報告

# 市政調査会

同会の例会を過日に開催、調査項目として稲荷下第二地区土地区画整理事業の進捗状況を役所内で説明を受け、引き続き平成21年度事業実施予定地等を現地調査した。最初に附馬牛町大洞地区と土淵町飯豊地区に建設予定の、大規模養豚施設地を調査し、施設概要・規模や畜産公害対策等につ



養豚施設建設予定地での説明会のもよう

いて、AST・進出する北日本JA畜産(株)より説明を受け、その施設からも運び込まれる予定の遠野市堆肥センターの稼働状況も調査した。当堆肥センターは、JAより市に管理運営が譲渡、耕畜農家のかけはしとして一体となった取り組みが要求される。また、その畜産の要となる畜産総合センター建設地に移動し、着工している家畜診療所(東南部共済組合)を外見調査説明を受けた。次に市街地に移り、市営住宅整備事業材木町地区の建設現場も調査進捗状況の説明を受け、最後に稲荷下第二地区土地区画整理事業の進捗状況を調査視察したが、遠野市中心市街地活性化基本計画が認定され、市街地活性化やインフラ整備の期待

が高まっている。今回の現地調査は多項目にわたっての調査となり、遠野市の経済、環境やライフライン等を調査でき、議会の果たす役割と責任の重さを肌で感じるものとなり、市政発展に向け更に活動を強化して行く事が必要と思われる。



# 公聴広報 特別委員会

平成21年3月25日から26日までの2日間、宮城県利府町及び同県岩沼市を行政視察した。  
利府町の人口は、20年3月末日現在で約3万3千人である。

同町では、議会広報編集特別委員会を組織し、その委員長は副議長が当て職として担当することになっている。また、議会広報づくりを議会ぐるみで行っており、議会広報づくりのマニュアルまで作成していた。当市にとっても非常に参考となる資料であることから、そのマニュアルを頂戴してきた。

紙面づくりの基本や考え方が当市のそれとはまるで違った印象を受けた。議会広報クリニクを毎年受講し、たゆまない新たな紙面づくりに挑戦していた。  
岩沼市は、3月末日現在で約4万4千人であるが、人口は微増を続け、仙台市のベッドタウンとなっている。  
同市での議会広報

編集の特徴は、すべてデータを電子化するという点である。マイクロソフト社のワードで文書をつくりそれをやり取りするのである。つまり、議員は全員ワードで文書を作成し提出する必要があるのである。



宮城県利府町での研修風景

# 傍聴してみませんか？

## みんなの議会

●次の定例会は、9月4日(金)から16日(水)までの13日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。

### 私のひとこと

#### 「新生活にあたって」



小松 実穂 さん  
(小友町)

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

今年の6月、農家に嫁ぎました。

嫁ぎ先は、隣家まで数十メートルあり、一番近い自働販売機までは1キロメートルもあります。  
夜になると、タヌキやキツネ、シカだけでなく、熊まで現れます。  
ちまたでは、結婚と同時にアパート暮らしを始める新婚さんが多いと聞きます

が、私は、妻になるだけではなく、家族の一員に早くなりたかったので、最初から夫の家に入りました。  
今はまだ農家の嫁1年生ですが、農家の知恵や生活、地域の慣習を早く吸収し「あの家は嫁でもってっけ」って言われるようになってるのが私の夢です。

### 編集後記

今回号から縦書き方式にて議会だよりを編集することとなりました。

これまでの議会だよりを旧遠野市時代まで遡ると、初版が昭和55年2月でB5版縦書き、平成5年7月23日出版がA4版縦書き、平成9年7月18日出版はA4版横書きと変遷を経ています。その時々編集委員会

の思いや熱意がそこにあるように思います。

当委員会では、それから12年を経た今回から、縦書きの紙面に変更、これまでの視察等を通して、中学生でも読みやすく解りやすい紙面、そして議会としての「説明責任」性を配慮した紙面づくりに努力してまいりますので、これからもご愛読をお願い致します。

(瀧)



公聴広報特別委員集合写真

#### 広聴広報特別委員

##### □委員長

瀧澤 征幸

##### □副委員長

菊池巳喜男

##### □委員

荒川 栄悦  
織笠 孝之  
浅沼 幸雄  
新田 勝見